宿根カスミソウの2回摘心9本仕立て栽培

福島県農業試験場　会津支場・平成10年度夏秋作試験成績概要

1　部門名　花きー宿根カスミソウー作型・栽培型　05-04-18000000

2　要　旨

宿根カスミソウの生産性を向上させるため、2回摘心9本仕立て栽培の秋切り作型における実用性を検討した。2回摘心は、1回摘心後の茎長が15cm時（15cm摘心）と30cm時（30cm摘心）の2方法とした。

（1）開花期は全供試品種とも、慣行1回摘心、30cm摘心、15cm摘心の順に早かった。

（2）2回摘心すると、切り花形質は劣るが、「ブリストル・フェアリー」と「ゴラン」では、70cm以上の切り花長を確保できた。特に「ゴラン」の15cm摘心では、L規格（80cm）の切り花が得られた。

（3）「ニューフェイス」は、2回摘心では切り花重と茎径が極端に小さくなるため、本作型には不向きである。

（4）以上のことから、多収穫を目的とした2回摘心9本仕立て栽培は、「ゴラン」または「ブリストル・フェアリー」を用いれば、会津山間地域の秋切り作型に有効な栽培法であることがわかった。